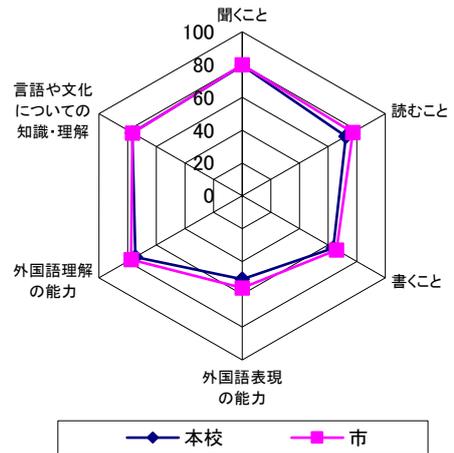


宇都宮市立田原中学校 第3学年【英語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	聞くこと	79.4	79.9	75.7
	読むこと	72.4	77.3	72.8
	書くこと	63.7	66.0	69.3
観点別	外国語表現の能力	50.8	56.1	58.8
	外国語理解の能力	74.5	77.6	72.3
	言語や文化についての知識・理解	76.8	76.6	76.3

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。
 (英語では本市独自の設問が含まれるため、参考値は全設問に対応した値ではない。)



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
聞くこと	<p>平均正答率は他の領域と比べて高いが、市の平均をわずかに下回っている。</p> <p>○比較級、現在完了の継続・経験、買い物、天候に関する問題は市や全国の正答率を上回っている。場面設定に使っている自作の絵が効果的だったと考えられる。</p> <p>●ストーリー全体を把握して考える問題は下回っているため、少し長めのダイアログや物語を聞いてあらすじをつかませるような練習を重ねさせていきたい。</p>	<p>・今後も普通の授業の中に可能な限り、まとまった量の英語を聞き取らせる指導を組み入れていきたい。ALTとのチームティーチングがその最たるものであるが、学年に応じてALTの説明や指示の日本語での補足を減らして、生徒たち自身の力で推測させるように心がけたい。</p> <p>また、教科書の内容をCD等で導入する際、会話や物語の内容を追わせる上で、あまり詳細にこだわらずに話の流れをつかませ、あらすじを書かせたり、特に、ポイントとなる質問に答えさせるなどの活動を増やしていきたい。</p>
読むこと	<p>平均正答率は「聞くこと」に次いで高いが、市の平均を大きく下回っている。</p> <p>○It～for…to～の構文とSVOCの文型に関する問題は市の正答率を上回っている。パターンプラクティスをていねいに行えたのが良かったように思える。</p> <p>●文中に一文を挿入したり、指示代名詞の指しているものを考えたり、全文の要旨をとらえようとして答える問題は下回っていた。まとまった英文を読んで要点をとらえさせる練習が必要である。</p>	<p>・教科書の読み物教材を扱うときには、最初に大雑把に読んでから○×テストを行うなどの工夫をしたり、人称代名詞や不定代名詞や指示語が何をさしているかなどの問題を出すなど、読み取り方にメリハリをつけさせたい。</p> <p>また、実際に役割を演じながら読みの練習をさせることにより、自然に会話の流れがつかめるようにさせたい。電話、メール、道案内、買い物等、教科書の進度にあわせて様々な場面で全員にペアワークをさせていきたい。</p>
書くこと	<p>平均正答率は3領域の中で最も低く、市の平均を少し下回っている。</p> <p>○don't have to～や疑問詞＋不定詞に関する問題は市の正答率を上回っている。インタビューアクティビティーやワークシートによる指導が定着に役立ったと考えられる。</p> <p>●enjoy＋動名詞や会話文中に一文を挿入する問題や自己表現英作文が下回っていた。自己表現の機会を授業中や自宅学習の課題に出して慣れさせていきたい。</p>	<p>・過去に学習した単語、熟語、慣用表現、基本文を復習するために、家庭学習の課題として書き取りの宿題を課すなど、授業では確保しにくい「英語を書いて練習する活動」に取り組ませたい。</p> <p>作文に関しては、授業での基本文定着活動(ペアで矢継ぎ早にキーセンテンスをインプットする活動)や、自己表現英作文(その授業の基本文をテーマとする表現)に力を入れていきたい。その際、基本となる文に加えて、さらに2・3文の自己表現が続けられるように促していきたい。</p>